

授業 of め〜だい!

「名大の授業ってどんなものがあるんだろう？」そんな疑問にお答えします！

1. 科目の種類



名大の授業は1限から5限まであります(詳しくはP.6『名大生の1日』へ)。

科目の種類は、大きく分けて以下のものがあります。

○全学教育科目

～何事も最初が肝心～

大学での「基礎」を勉強します。専門的内容の土台となる大事な部分ですので、学ぶべき授業数はどの学部でも多いです。高校の授業の延長のようなものもあり、文系でも理系の内容をやることもあります。

○言語文化科目

～英語と第二外国語～

名大では英語と第二外国語を勉強することができます。第二外国語は、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮・韓国語、スペイン語、ロシア語の中から1つ選択して学びます(留学生の方は日本語も選択できます)。

○現代教養科目

～学問の枠にとらわれない～

文系・理系それぞれの内容や、文理にとらわれないような内容の勉強をします。主に1・2年次に学び、さまざまなテーマの授業が用意されています。

○専門科目

～これぞ大学・分野を究める～

学部・学科の専門的な内容を勉強します。1年次は少ないですが、学年が上がるにつれて専門科目が授業の大部分を占めるようになっていきます。

自分が専攻している学部の授業はもちろん、理系の先生が文系に向けた授業や他学部でも受講ができる開放科目もあり、学部を越えた学習ができることも名古屋大学の魅力です。



終電って意外とすぐ去ってしまうものです……(情報学部2年)

びっくりするくらい多くの理系の人と仲良くなれたこと。嬉しかった(文学部3年)

2. 授業紹介



授業の種類だけでは想像もつきませんよね。名大生に受けておもしろかった授業について聞いてみたので、見ていきましょう！

※ 2023 年度以前の情報を元としています。

※ 授業は一例です。他の学部でも受けることのできる授業もあります。



理系科目編

インフォマティクス

【学部】 情報学部

【授業の種類】 専門基礎科目

【特徴・受講した感想】

「インフォマ1」～「インフォマ4」の四つからなる系列の授業です。ドワンゴのCEOのような外部の講師や情報学部の先生方が、計算機の仕組みや粘菌コンピュータ、量子コンピュータなど、情報学の基礎から最先端までいろいろ紹介してくれます。一年生にもわかるように平易な言葉で話してくれて面白かったです。

現代物理学序論

【学部】 理学部

【授業の種類】 専門基礎科目

【特徴・受講した感想】

物理学系の研究室の先生が、自身の研究について話してくれます。4回くらいの授業ごとに先生が変わるので、様々な分野の話聞けます。ノーベル賞を受賞した研究に関わっていた先生の話聞いたことは、とても貴重な経験だったと思います。

地球科学実験

【学部】 理学部

【授業の種類】 自然系基礎科目

【特徴・受講した感想】

主に鉱物、岩石、化石を同定する実験を行います。同定に必要な知識は適宜その場で教えてくれるので、高校での地学履修の有無に関わらず、楽しみながら同定対象の観察に励むことができました。

工学概論第1

【学部】 工学部

【授業の種類】 関連専門科目

【特徴・受講した感想】

名大工学部を卒業した先輩たちが講演をします。今学んでいることがどう社会に生かされるのか、社会で求められる人材になるために今何をすべきかなどについて教えてくれます。

高校の時の友達と久しぶりに会って旅行にいったこと(工学部2年)

空きコマに友達とご飯に行ったり、勉強するのが楽しい(情報学部2年)

生物環境科学実験

【学部】 農学部生物環境科学科

【授業の種類】 専門科目

【特徴・受講した感想】

植物生理生態や、測量など様々な分野の実験、実習を行います。農学部付近の二次林を歩き回って葉を採取し、押し葉を作成しました。また、二次林内の樹木の胸高周囲や胸高直径の測定を行うなど樹木とたくさん関わる事ができます。

物理学実験

【学部】 情報学部

【授業の種類】 自然系基礎科目

【特徴・受講した感想】

放射線の測定や振り子を使った重力の測定など、物理に関係する様々な実験を行いました。オシロスコープやノギスなど使ったことがない器具を使っての測定や、誤差（不確かさ）の計算など、実験に役立つ知識も手に入れることができます。

文系科目編



英語（上級）

【学部】 工学部

【授業の種類】 言語文化科目

【特徴・受講した感想】

英語でのプレゼンテーションの練習ができました。プレゼンテーションの内容は、映像作品や小説の感想、課題に対して自分の意見の発表、自由テーマなどがあります。他の生徒と話し合う時間も多いので友達作りにも良いです。

名古屋大学の歴史

【学部】 教育学部

【授業の種類】 現代教養科目（学際・融合系）

【特徴・受講した感想】

名古屋大学の歴史を名古屋県仮病院・仮医学校の時代から学びます。自分の大学のことについて詳しく勉強するのは興味深いし、話のネタにもなります。日本史好きにおすすめです。

自然環境と人間

【学部】 文学部

【授業の種類】 現代教養科目（学際・融合系）

【特徴・受講した感想】

気候変動と人類の歴史の関わりについて、木の年輪の酸素同位体比というものを用いて考察する授業でした。酸素同位体比というと理系チックな感じがしますが、人類の歴史との関わりを考察するものなので、文理という区別関係なしに、どちらの視点を持つことも大事だなと改めて感じさせてくれた授業でした。資料や説明がとてもわかりやすかったので、文系の自分でもついていくことができました。



大学生活での思い出はたくさんありますね！

言語学入門

【学部】 情報学部

【授業の種類】 現代教養科目（人文系・社会系）

【特徴・受講した感想】

言語の目的や定義、特徴などについて学びます。日本語では「稲、米、ご飯」は別々に分かれています。英語ではすべて「rice」なのはどうしてか、などといった当たり前だと思っていたけれどよくよく考えてみたら不思議なことについて体系的に学べて面白いです。

アーカイブズ学

【学部】 教育学部

【授業の種類】 人文・社会系基礎科目

【特徴・受講した感想】

アーカイブズ(分かりやすく言うと文書保存)について、一から教えてくれる授業です。国の文書保存問題から、大学での文書の扱い、図書館の機能など身近な内容まで様々なことを扱います。レポートを書くときに役立つ知識などが学べる上、楽しいです。

地理学実習Ⅰ / Ⅱ

【学部】 文学部

【授業の種類】 専門科目

【特徴・受講した感想】

1年間継続される授業(通年授業)です。9月中旬に日本全国の中から学生が選んだ地域で1週間ほどのフィールドワークを行います(2022年度は青森県八戸市に行きました)。全員が異なるテーマを設定し、そのテーマに関連した調査を、調査手法の考案からアポ取り、時にはアンケート調査まで全て1人で行います。調査結果は報告書としてまとめ、最終的にはそれが冊子となって印刷されます。全て1人で行うので、自由度はとても高いです。私は聞き取り調査をメインに行いました。調査対象者の方から貴重な話を聞けたので、授業以上の一生の思い出になったと感じています。



3. もっと気になる！という方へ



下記のサイトで、一部の授業に使われるスライドや資料が公開されています。全ての学部のものでありますので、興味のある方はご覧ください。

「名大の授業」<http://ocw.nagoya-u.jp/>



いかがでしたか？大学の授業の雰囲気を少しでもつかんでいただけたら幸いです。

美術部、最近新入生多いです、画材は好きなものを使う(情報学部2年)

芸音学部、楽しむのをモットーにした軽音サークルです！初心者大歓迎(情報学部2年)